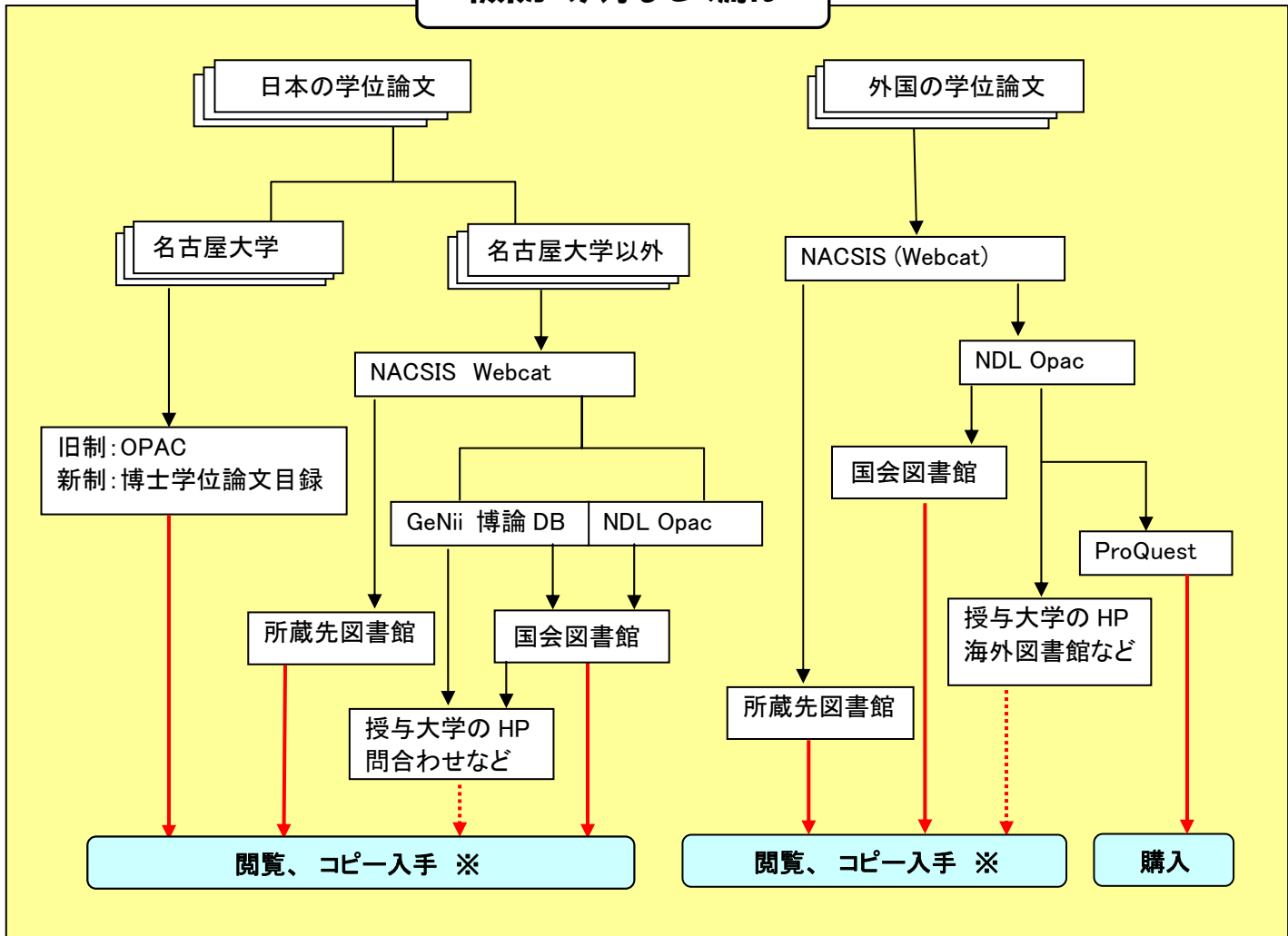




2-4 国内外の学位論文を探す 検索から入手まで



検索から入手までの流れ



※ 複写に際して⇒ 全文複写の場合、大半は著作権法により著者の許諾が必要。

1.名古屋大学の博士論文

- a. 新制(1957 年以降) 名古屋大学博士学位論文目録(新制) (<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/gakui/index.html>)
- b. 旧制(1939.4～1962.3) OPAC (<http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/>)

🍴 利用は? 🍴🍴🍴

1. 博士論文の閲覧は⇒ 中央図書館受付カウンターで申請。 利用時間: 平日 8:45～17:15
2. 複写⇒ 著作権法の範囲内(著作物の半分以下)まで可能。 それ以上は著者の許諾が必要。
3. 修士論文⇒ 中央図書館では所蔵していません。 各部局にお問い合わせください。
一部 OPAC で検索可能な場合もあります。

2. 他大学の博士論文

a. NACSIS Webcat (<http://webcat.nii.ac.jp/>)

博士論文を一般書籍として発売する場合があります。 論題(タイトル)、著者で検索。

b. NDL-Opac 国立国会図書館蔵書検索 (<http://opac.ndl.go.jp/>) 【一般資料の検索/申込み】ボタンから。

国内の博士論文に関しては 1984 年以降のものを検索できます。 出版者⇒授与大学 出版年⇒授与年

c. GeNii (<http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp>) の学術研究データベース・リポジトリ「博士論文書誌データベース」

我が国の国公立大学等で授与された博士号の学位論文について、標題・著者名・学位の種類等を収録したデータベースです。博士課程を持つ大学等のほとんどを網羅していますので、博士論文(学位論文)を包括的に検索することができます。

d. 各大学の HP などから探す。

大学独自の学位論文データを公開しているサイト(要旨や修士論文を公開していることも)あります。

・ 学位論文の検索サイトのリンク集 (国際開発図書室作成)

(<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/service/library/guide/retrieval-jp.html#gakui>)

・ 主な大学の要旨集が中央館索引コーナーにあります。

★★ 参考資料 ★★

我が国の学位制度の主な変遷について (PDF:22KB)

(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/gijiroku/004/04091501/008.htm)

中央教育審議会大学院部会(第 23 回 2004 年 7 月 30 日)議事録・配布資料 資料 6-1 学位授与の促進に関する参考資料より

3. 外国の学位論文

a. NACSIS Webcat で検索

b. NDL-Opac (国立国会図書館蔵書検索)で検索

海外の論文は科学技術分野中心。 UMI 博士論文は、【規格・レポート類の検索/申込み】 ボタンから。

c. ProQuest Dissertations and Theses (PQDT)

学位論文データベース Dissertation Abstracts (ProQuest Information and Learning 社)が利用できるサービスです。検索した学位論文のフルテキストは有料で入手可能です。北米の大学を中心とした世界の大学の学位論文 160 万件以上の書誌索引を収録しています。学内から以下の方法で検索できます。

附属図書館ホームページ ⇒ データベース ⇒ 学位論文 ⇒ ProQuest Dissertations and Theses をクリック

d. [リンク集\(Academic Resource Cabinet\)](#) から所蔵目録、図書館などのページを検索

例 1.. Integrated Catalogue (The British Library) など諸外国の蔵書目録を検索

例 2.. 学位を授与した大学の HP、OPAC などを検索



閲覧・複写

論文の書誌事項がわかったら所蔵の確認をします

国内の博士論文は？

博士論文⇒ 一部は国立国会図書館関西館に納本し、一部は学位授与大学で保管しています。

・ 国立国会図書館では、閲覧、複写が可能。

・ 他大学へ閲覧に行く場合は事前連絡が必要な場合が多い。紹介状が必要な場合もある。

⇒ 所属部局図書室、または中央館相互利用カウンターでご相談ください。

海外の学位論文で日本国内に所蔵がない場合は？

・ 外国の図書館や大学の所蔵が見つかった場合は⇒ 中央館相互利用カウンターでご相談ください。

・ 国内の代理店(サンメディア、雄松堂書店など)を通じて個人的に購入することも可能です。

メモ/ 外国の学位論文でも国内の図書館や国会図書館で所蔵している場合は、閲覧・複写(著作権法範囲内)の申込みが可能。但し部分的な複写でも著者の許諾を求められることもある。